

小坂井地区住民意向動向調査結果

平成 2 2 年 1 0 月 2 6 日

<小坂井地区市民アンケート調査>

1. 調査の方法

アンケート調査は、次の要領で行いました。

配布対象：市内在住の15歳以上の住民

配布対象の抽出：無作為抽出

配布枚数：1,700世帯（1封筒に2人分同封）

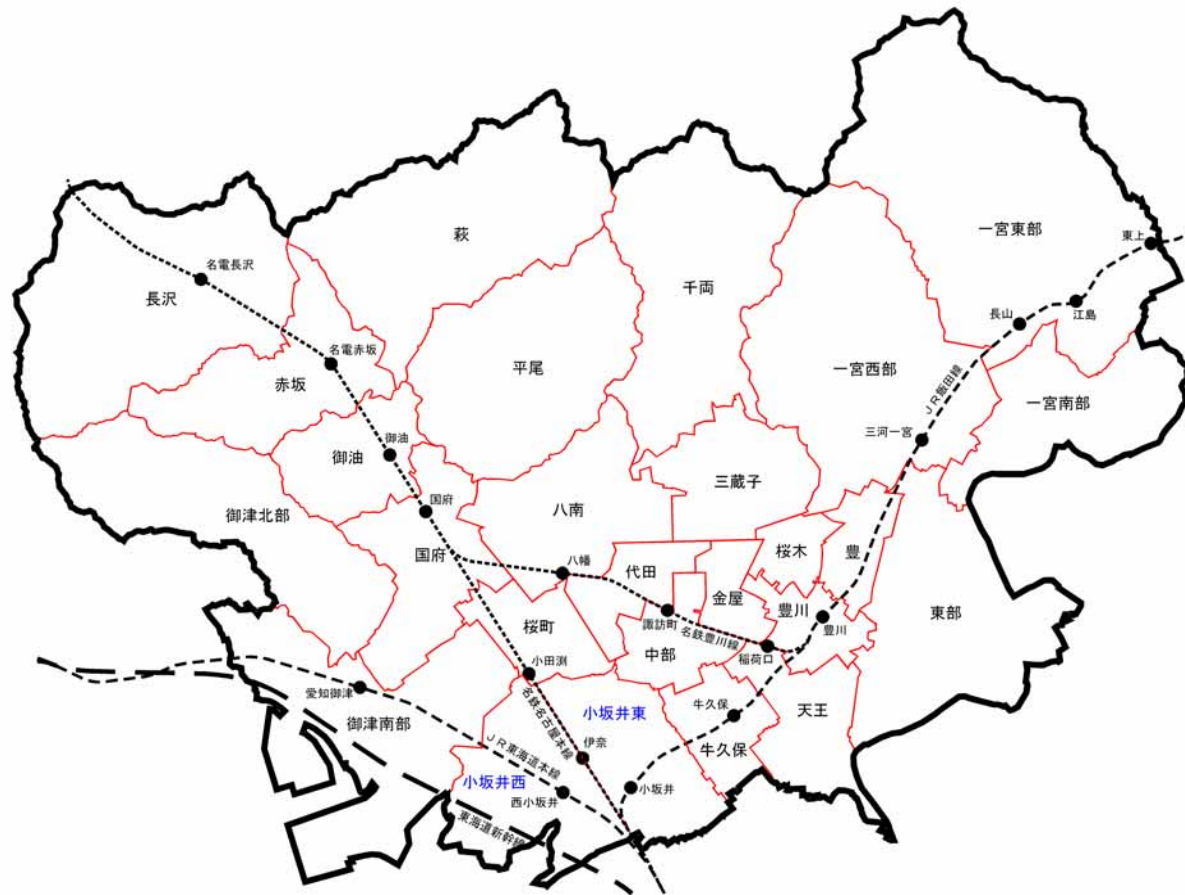
アンケート調査票の配布：抽出された方が居住する世帯への郵送配布

アンケート調査票の回収：返信用封筒を同封の上、郵送回収

2. 小坂井地区の配布区分

小坂井地区への配布区分は、市民意識調査や旧豊川市の都市計画マスタープランの区分を参考にして小学校区単位とし、小坂井東と小坂井西の2校の小学校区に分割しました。

配布枚数1,700枚を、15歳以上の人口比に配分して、地区への配布枚数に偏りが生じないようにしました。



アンケート票の配布区分

3. 回収結果

市民アンケート調査票を、無作為抽出した1,700世帯に、1封筒2枚同封して郵送配布を行いました。

郵送による回収の結果、回収封筒数は580人となり、回数枚数は922枚となりました。このうち、有効回収数は892人となり、有効回収率は26.2%となりました。

市民アンケートの小坂井地区回収結果

		小坂井地区全体
調査方法	配布	・郵送配布：15歳以上を対象（6月30日(水) 発送）
	回収	・郵送回収（7月20日(火) 回収期限）
15歳以上人口 (H22-04-01)		18,335人
配布枚数		1,700枚
配布人数		3,400人
必要枚数		400枚
回収封筒数		580封筒
回収枚数		922枚
有効回収数		892枚
有効回収率		26.2% (参考：前年度31.5%)

有効票は、性別、年齢の記載に漏れがなく、属性分析可能な票を対象としました。

4. 市民アンケート調査の集計結果

集計した結果のうち、主な内容を抜粋して示します。

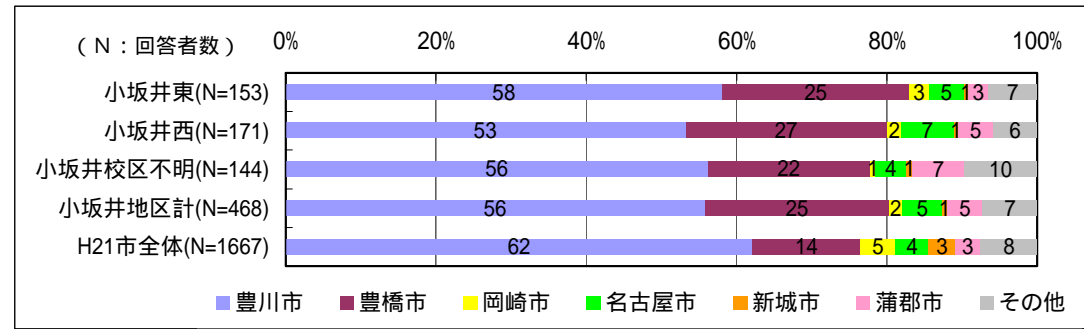
集計では校区が不明な回答も含め、グラフでは小坂井東、小坂井西、小坂井校区不明の3つに分類して集計し、平成21年度の市全体の集計結果も併記しました。

(1) 目的別の主な行き先と交通手段

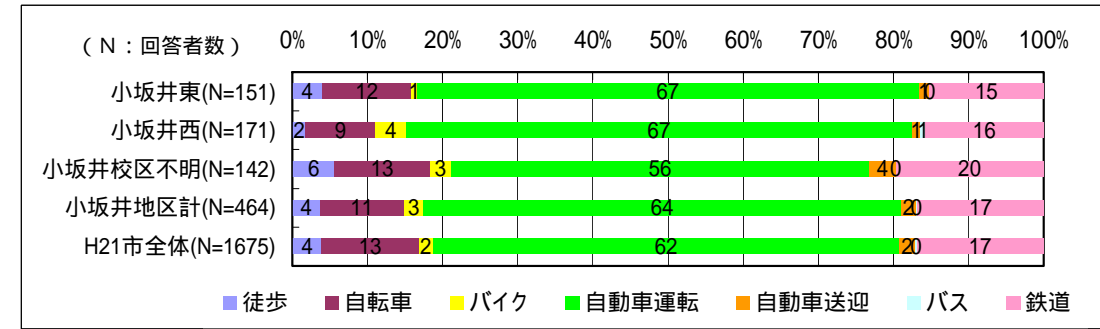
各目的とも、豊川市内の行き先が多くなっています。市全体と比べると、やや豊橋市内の行き先の割合が多くなっています。

代表的な移動交通手段は、市全体と同様に自動車（自分で運転）による移動の割合が多くなっています。

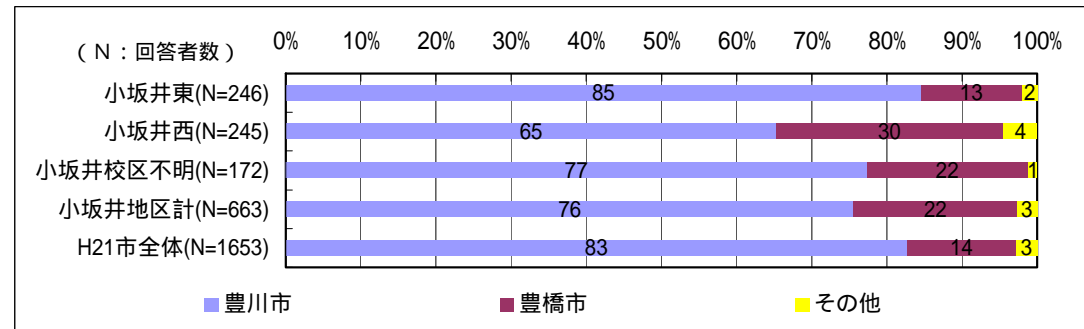
< 通勤通学目的の主な行き先 >



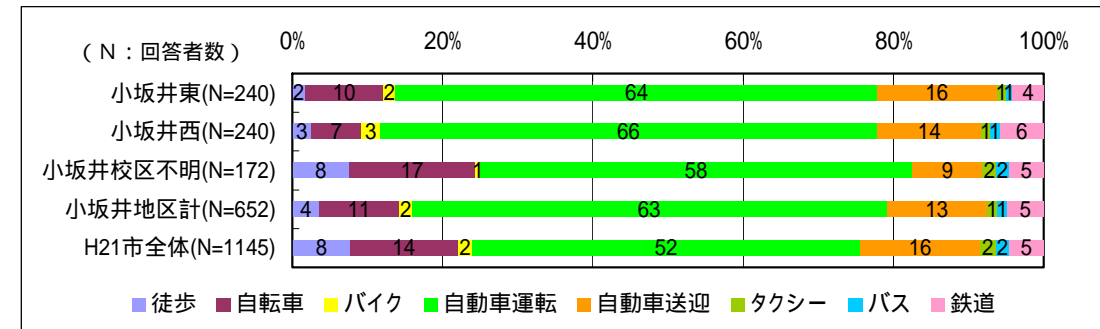
< 通勤通学目的の代表的な移動交通手段 >



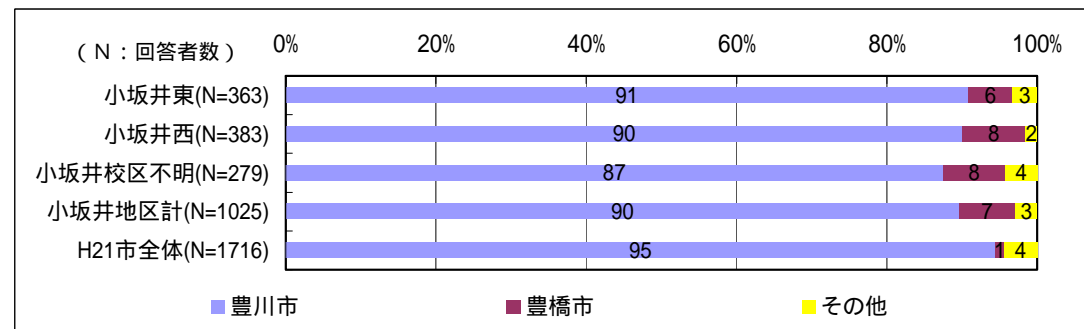
< 通院目的の主な行き先 >



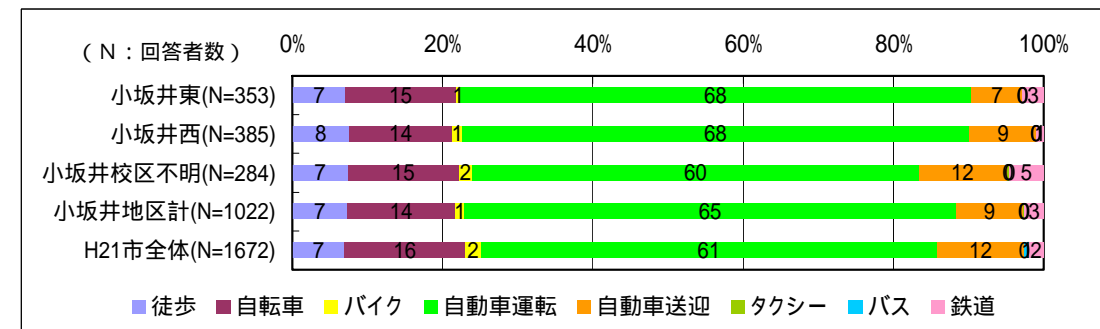
< 通院目的の代表的な移動交通手段 >



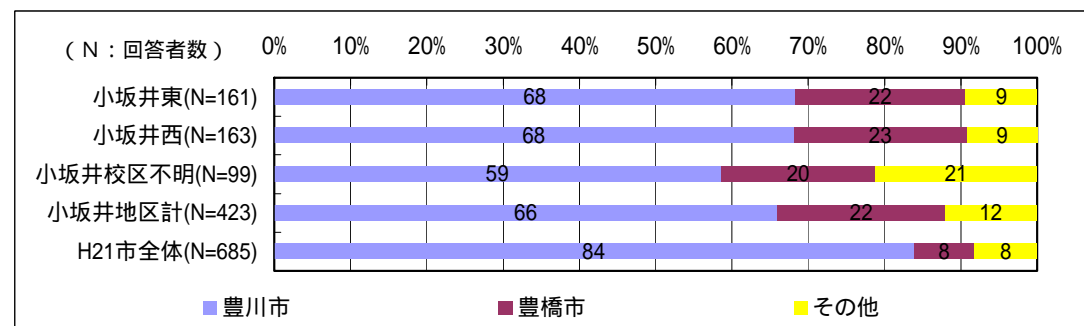
< 買物目的の主な行き先 >



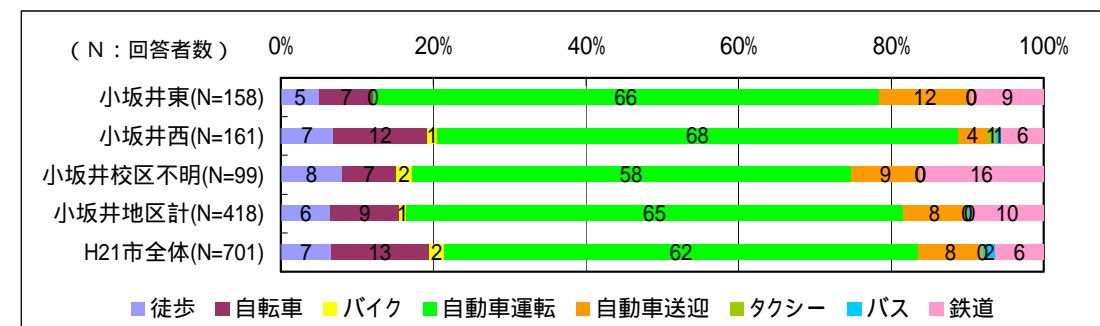
< 買物目的の代表的な移動交通手段 >



< 習い事・娯楽・その他目的の主な行き先 >



< 習い事・娯楽・その他目的の代表的な移動交通手段 >



(2) 通勤・通学、通院、買物、習い事・娯楽・その他目的の具体的行き先

(通勤・通学目的は1つだけ記入。通院、買物、習い事・娯楽・その他目的は2つまで記入)

通勤・通学目的は、小坂井東地区が最も多く、次いで代田・中部・金屋地区が多くなっており、小坂井地区内と市の中心部への移動の多さが目立っています。

通院目的では、青山病院、豊川市民病院が多くなっています。

買物目的では、ドミー小坂井店、Aコープ小坂井店、豊川サティ、サンヨネ豊川店、フードオアシスあつみ宿店が多くなっています。

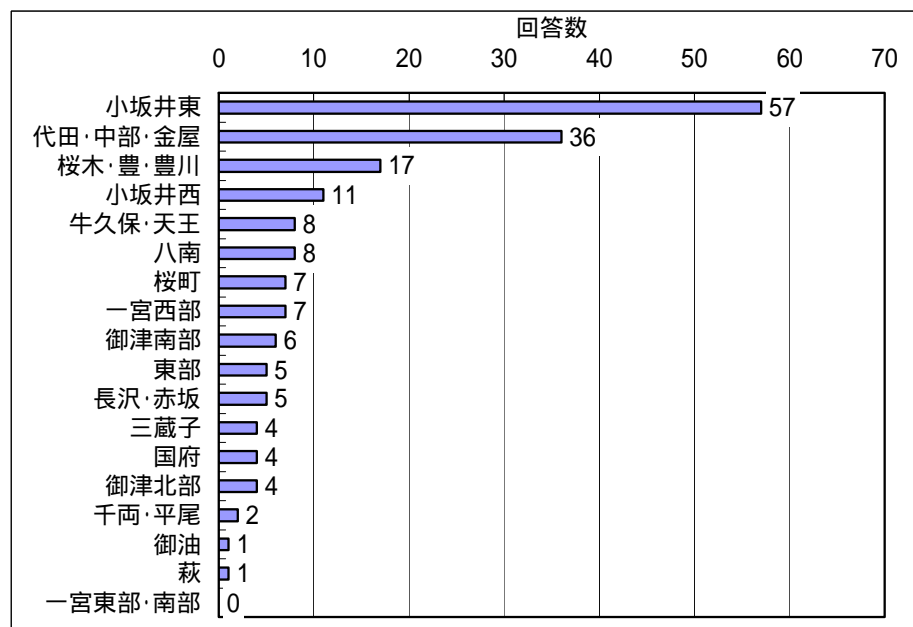
習い事・娯楽・その他目的では、通院・買物目的に比べて、全体的に回答数が少なくなっています。

(3) 現在は利用していない(行けない)が、行きたいと思う施設(2つまで記入)

小坂井地区内では、JR西小坂井駅、青山病院、名鉄伊奈駅が多くなっています。

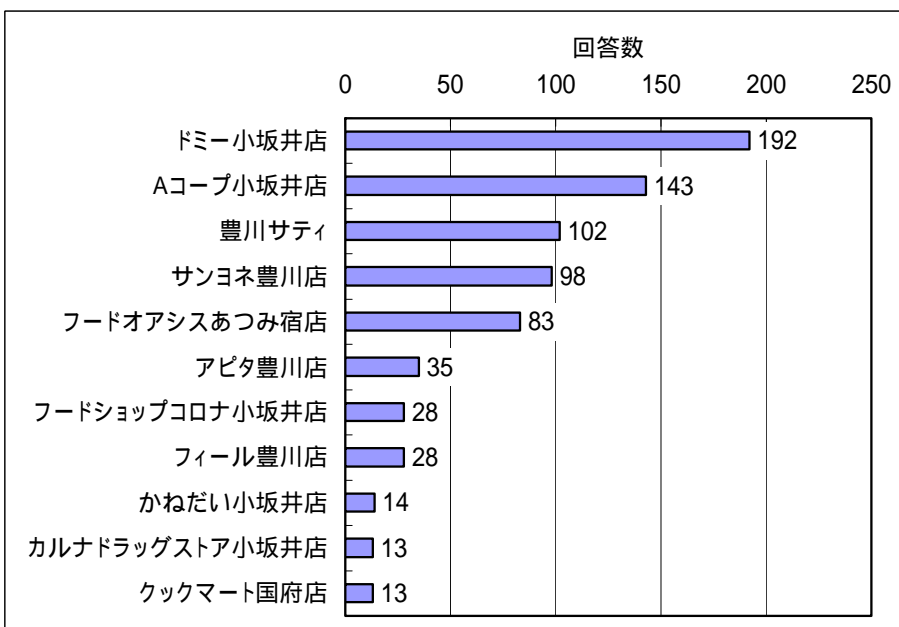
小坂井地区を除く豊川市内では、豊川市役所、豊川市民病院が多くなっています。

<通勤・通学目的> 市内の目的地のみ抜粋

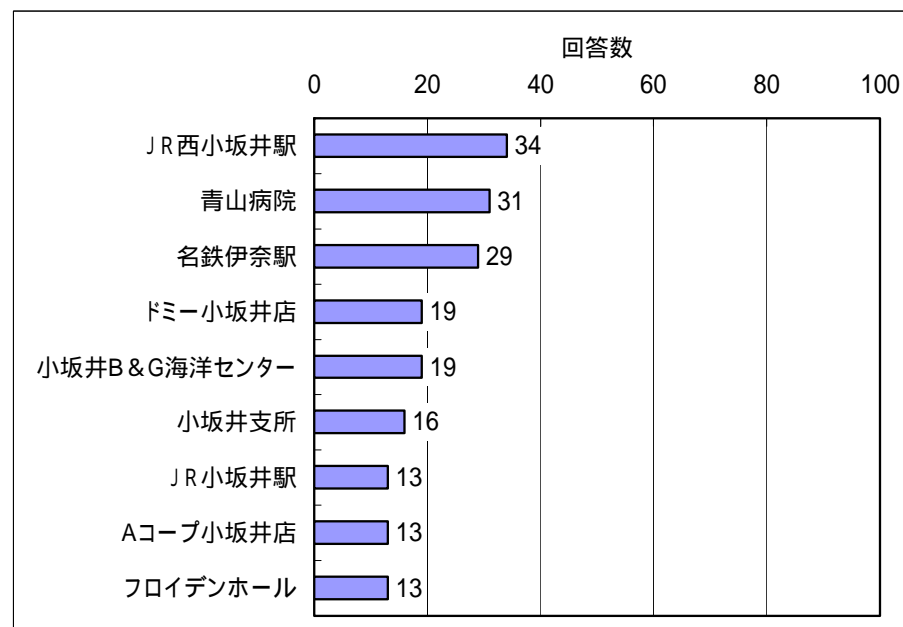


アンケート調査票の配布地区単位に分けて整理

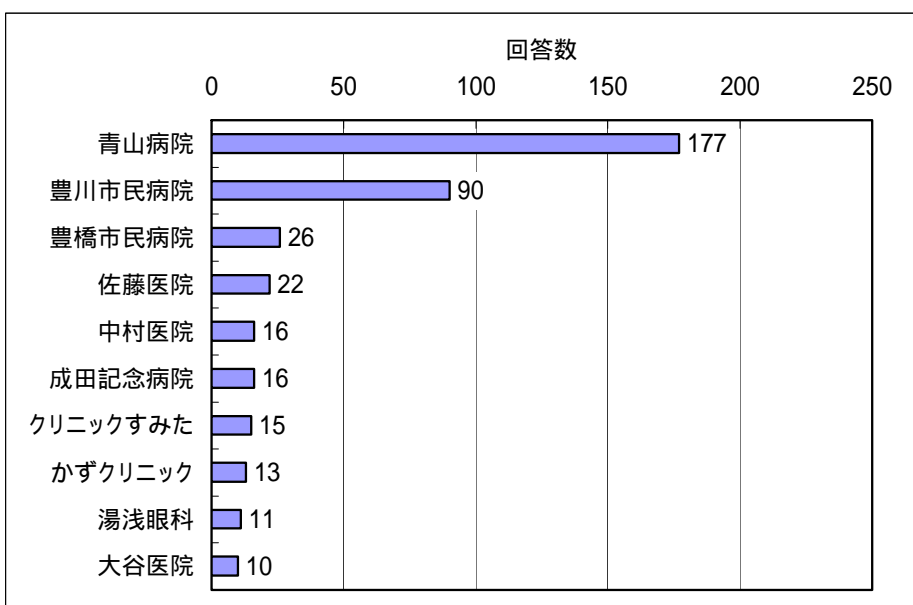
<買物目的> 回答者数10人以上を抜粋



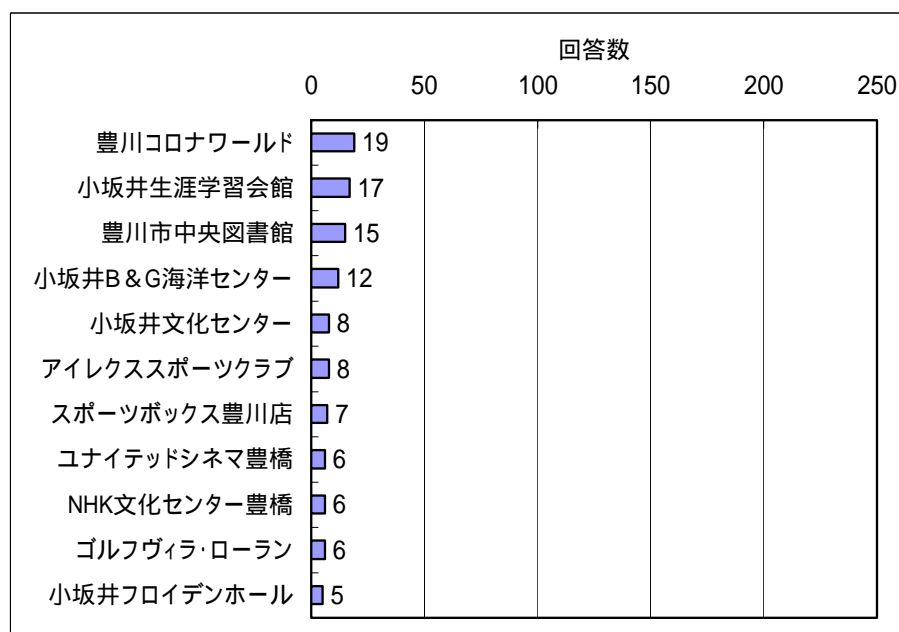
<小坂井地区内> 回答者数10人以上を抜粋



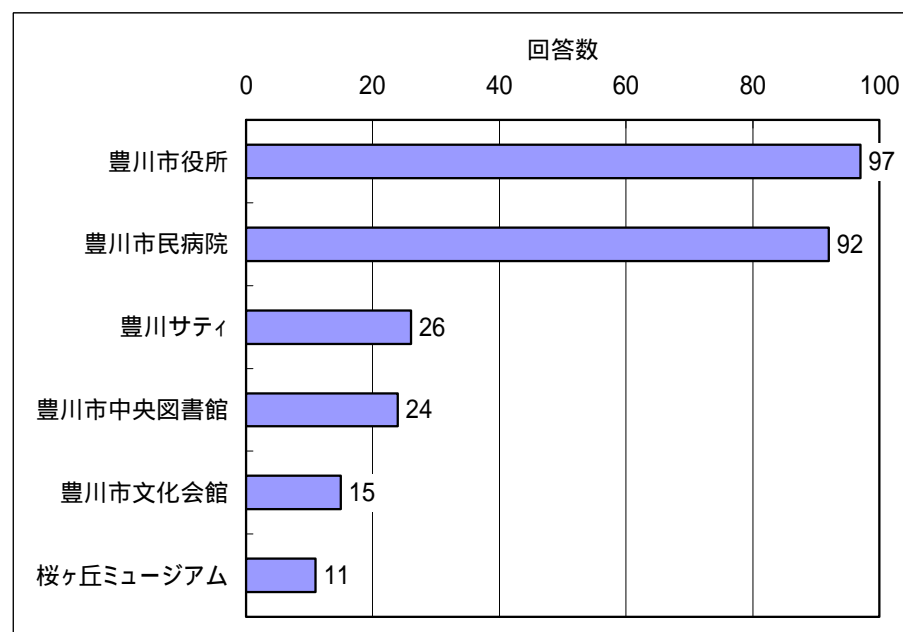
<通院目的> 回答者数10人以上を抜粋



<習い事・娯楽・その他目的> 回答者数5人以上を抜粋



<豊川市内(小坂井地区除く)> 回答者数10人以上を抜粋

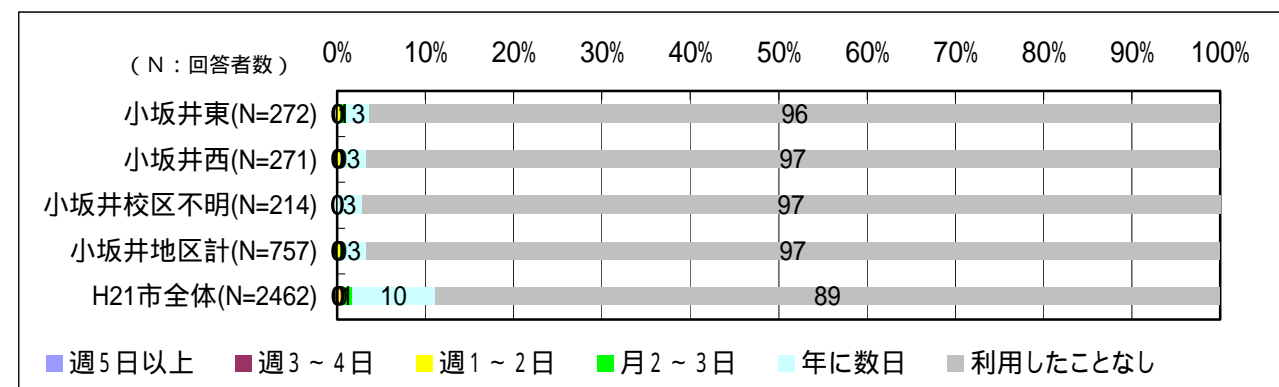


(4) 市内バス路線の利用頻度

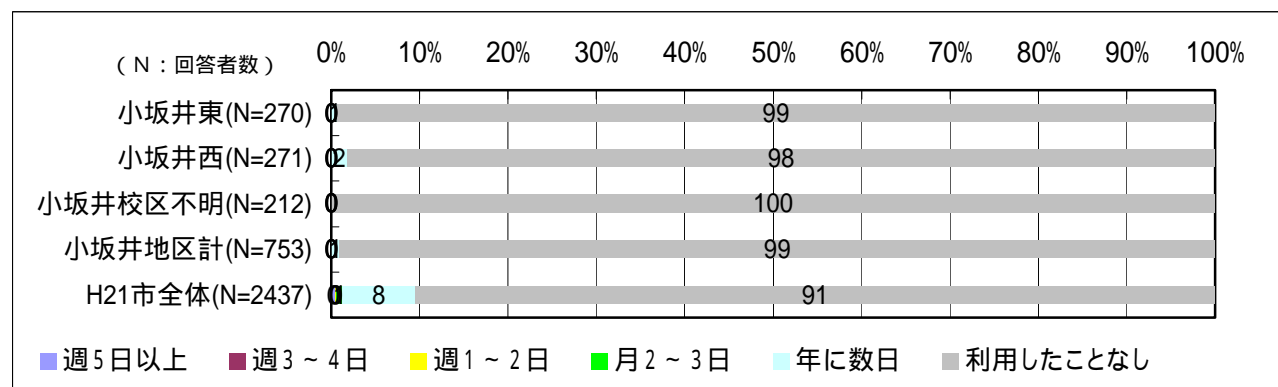
現在、小坂井地区内を運行するバス路線はありませんが、市内を運行する民間バス路線2路線と、市委託バス路線の4路線の利用頻度の把握を行いました。

その結果、いずれのバス路線も大半が「利用したことなし」が占めている状況にあります。

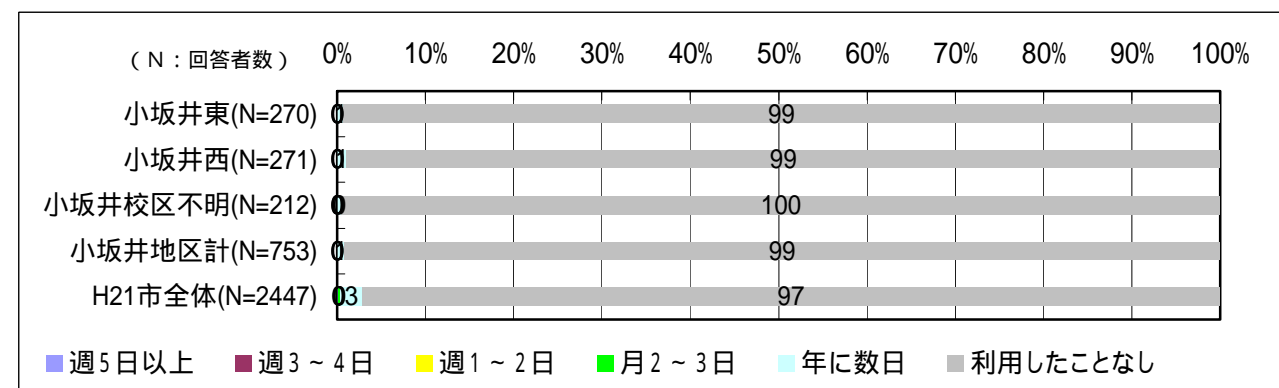
< 豊鉄バス新豊線 >



< 名鉄バス西浦豊橋線 >



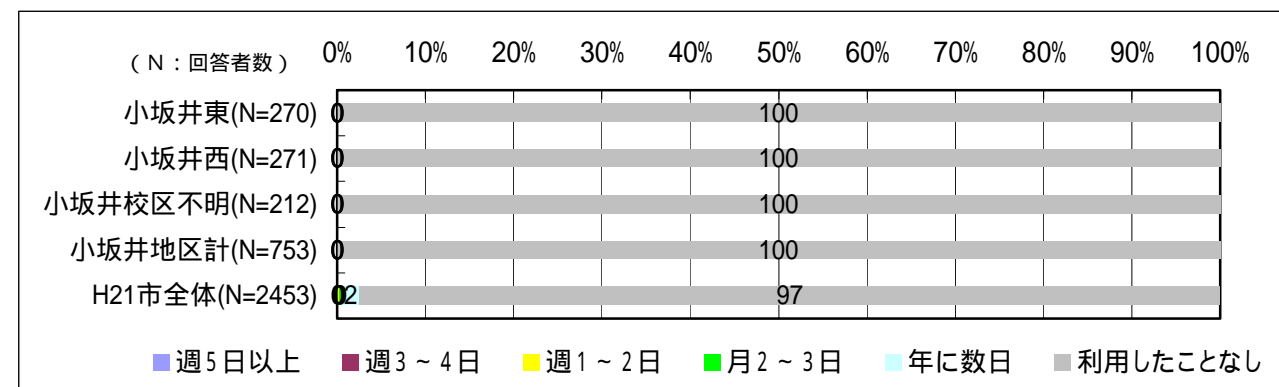
< 豊川北部線 >



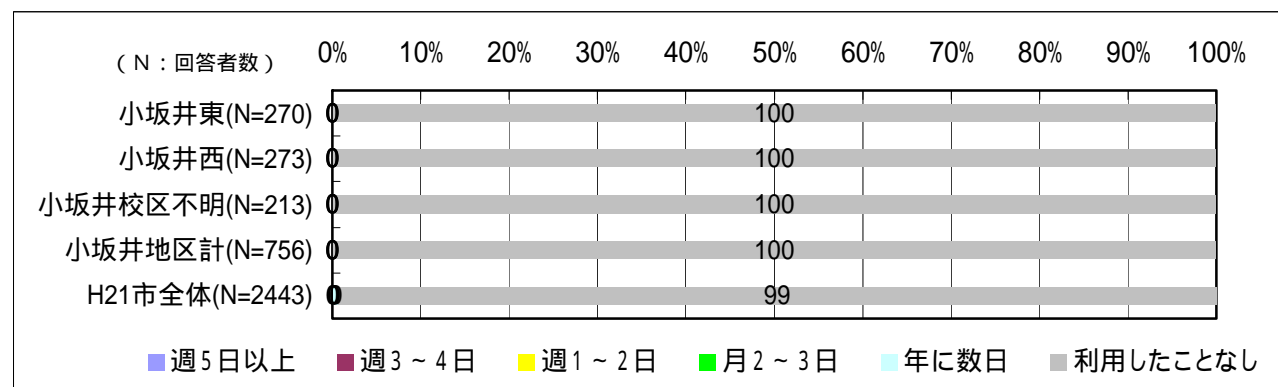
< 一宮健康福祉センター送迎バス >



< 音羽地区コミュニティバス >

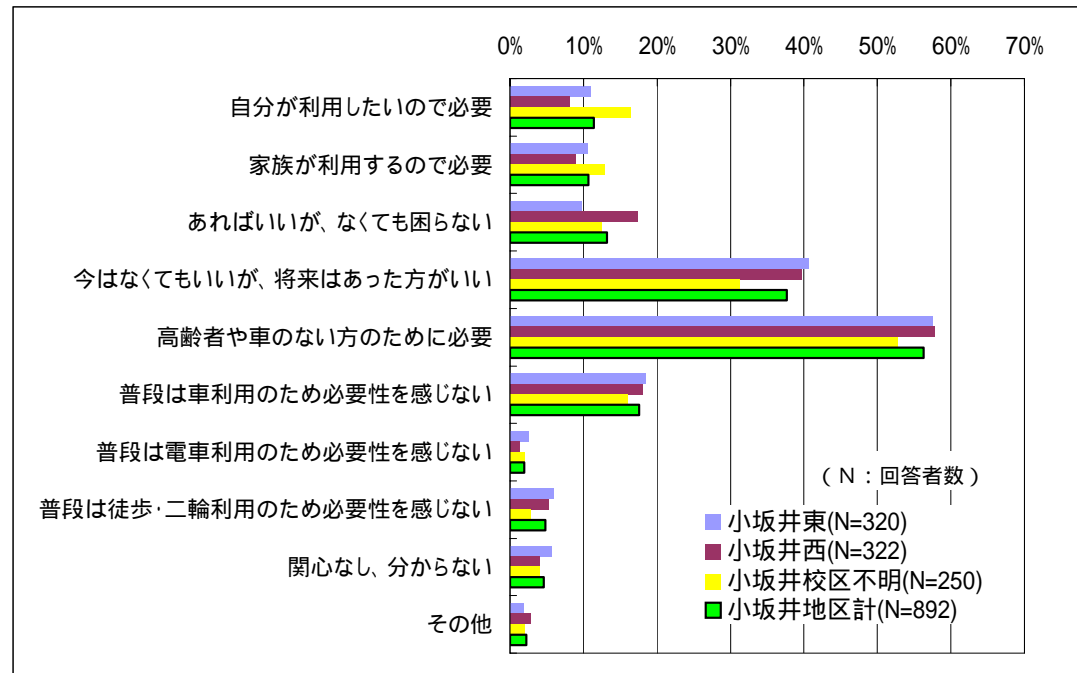


< 御津地区福祉乗合タクシー >



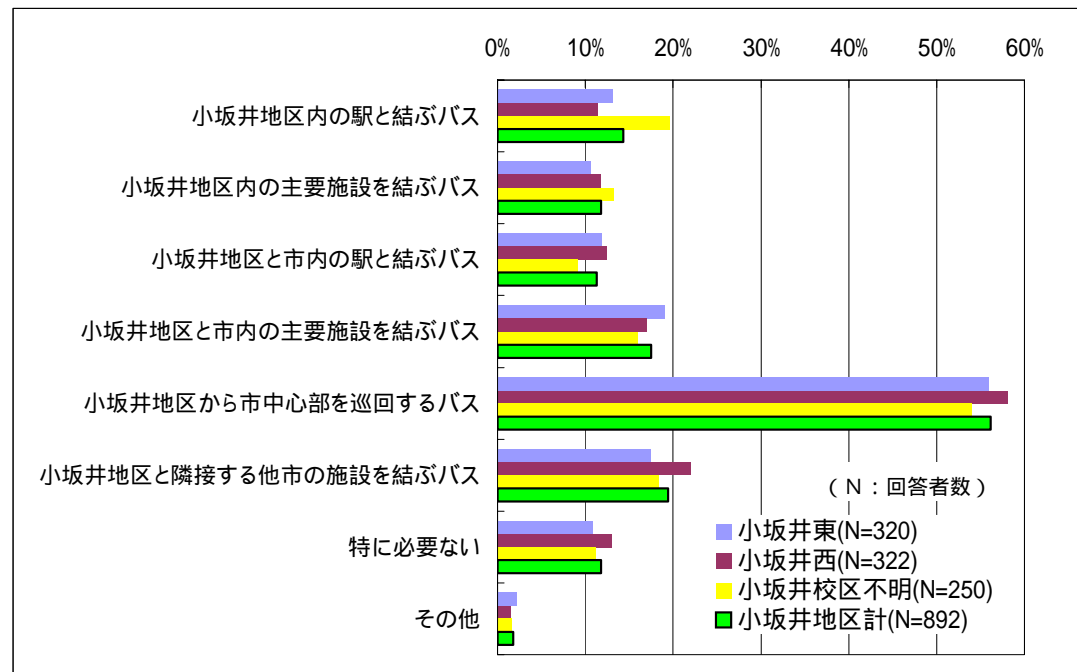
(5) バスの必要性について(2つまで回答)

小坂井地区にバス路線がない現状の中で、バスの必要性については「高齢者や車のない方のために必要」や「今はなくてもいいが、将来はあった方がいい」の意見が目立ち、将来的に必要性を感じる方が多い傾向にあります。



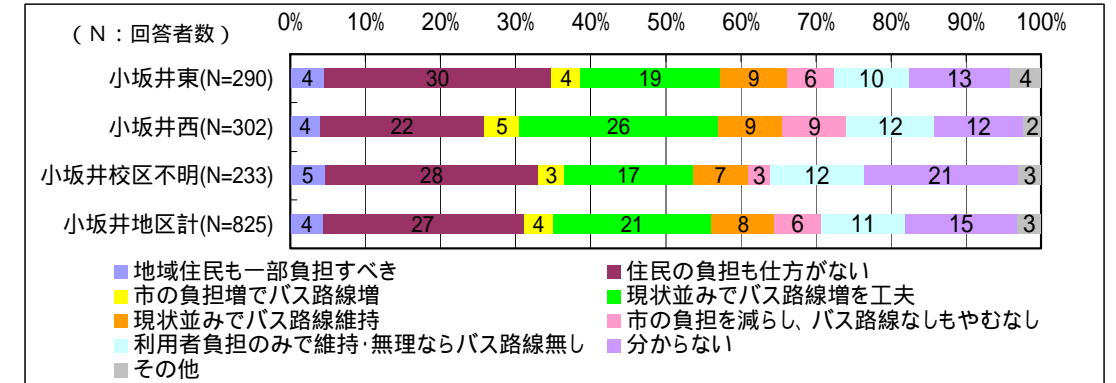
(6) 今後、小坂井地区にバス路線を整備する場合、どのようなバスが必要と思うか(2つまで回答)

現時点で小坂井地区内にバス路線がないため、現在の移動状況を思い浮かべながら回答して頂いた結果、「市中心部を巡回するバス」の意見が最も多くなりました。



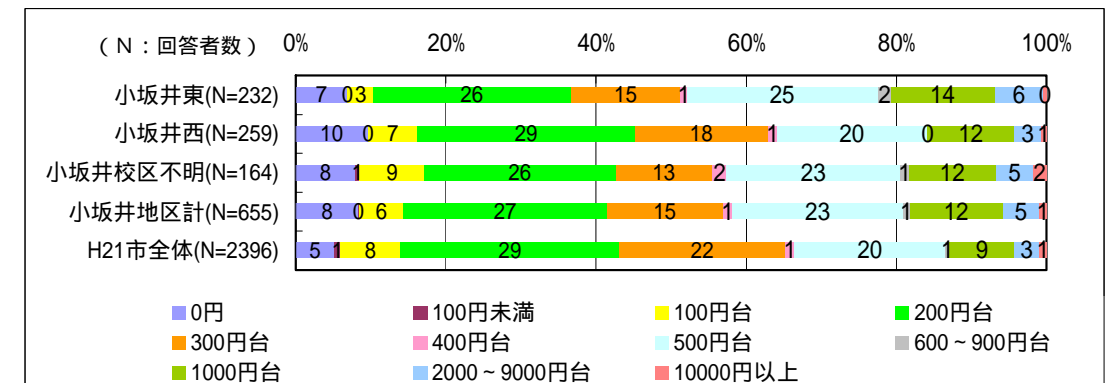
(7) バス路線を整備する場合の、バス路線維持のための負担の考え方についてどう思うか。

「住民の負担も仕方なし」と回答した割合が多く、次いで「現状並みでバス路線増を工夫」が多くなっています。



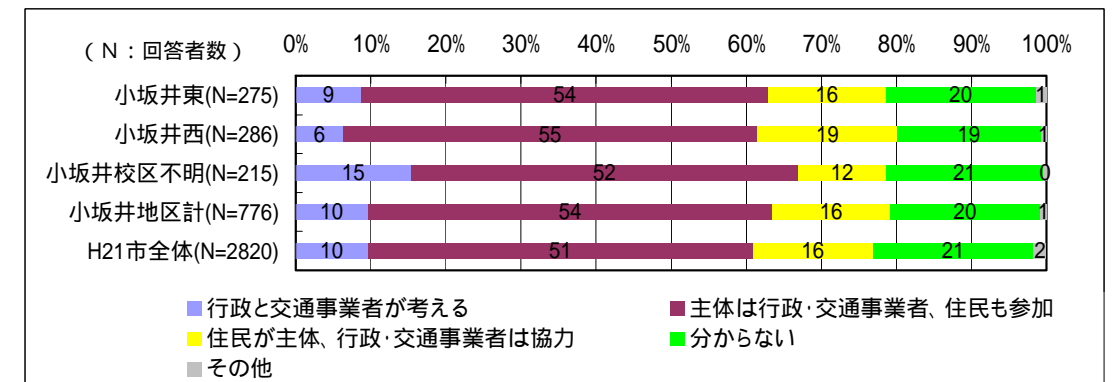
(8) 最低限の公共交通サービスを確保する場合、1年でいくらまで税負担してもいいと思うか

市全体の結果と同様、「200円台」と回答した割合が最も多くなっていますが、次に多い回答が市全体では「300円台」であるのに対し、小坂井地区では「500円台」となっています。「0円」という回答も、小坂井地区の方がやや多くなっています。



(9) 市の公共交通について、今後どのように取り組むべきと思うか

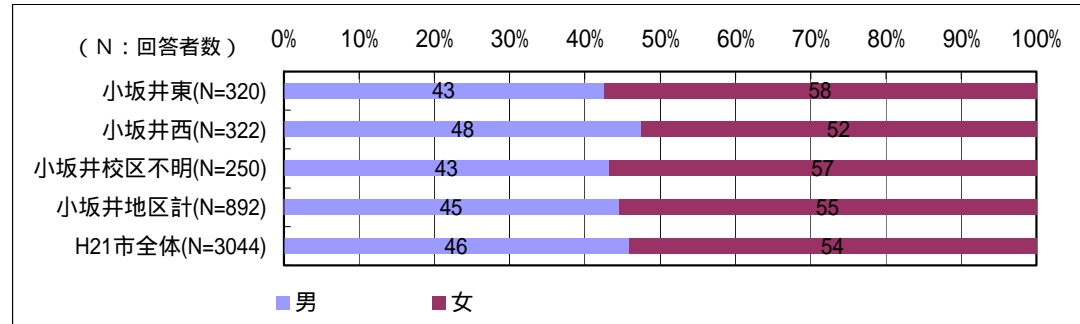
昨年度の市全体の結果と概ね同じ傾向にあり、「主体は行政・交通事業者、住民の参加」と回答した割合が多くなっています。



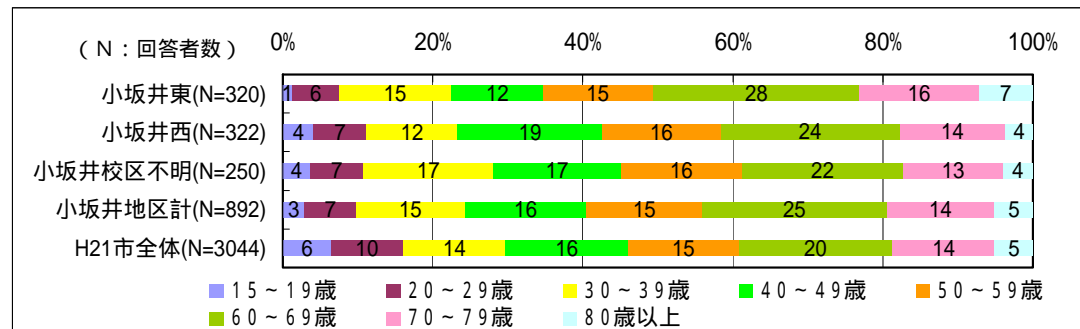
(10) 回答者の構成について

今回の小坂井地区での調査では、男女比、年齢構成、職業構成、運転免許の有無については市全体の結果と概ね同じ傾向となり、偏りはありませんでした。

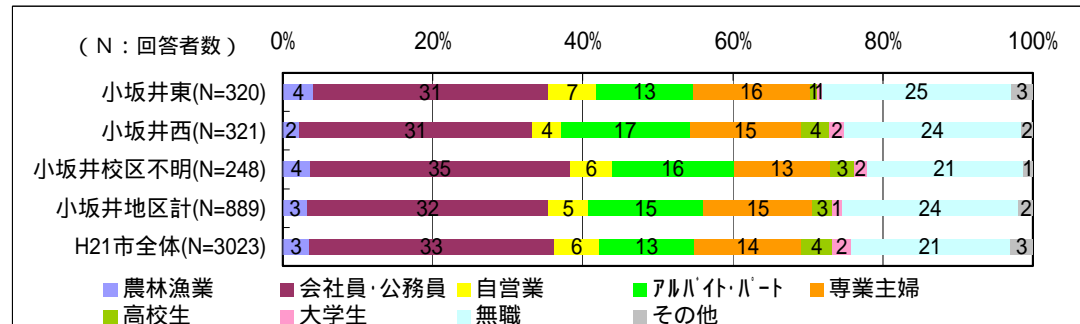
< 性別 >



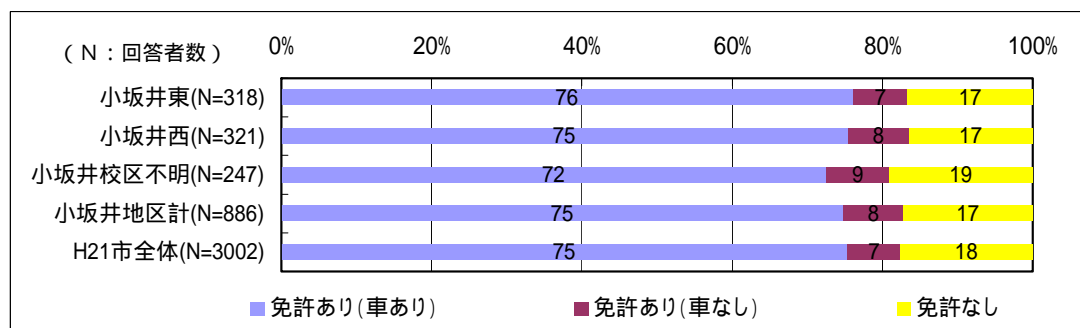
< 年齢構成 >



< 職業構成 >



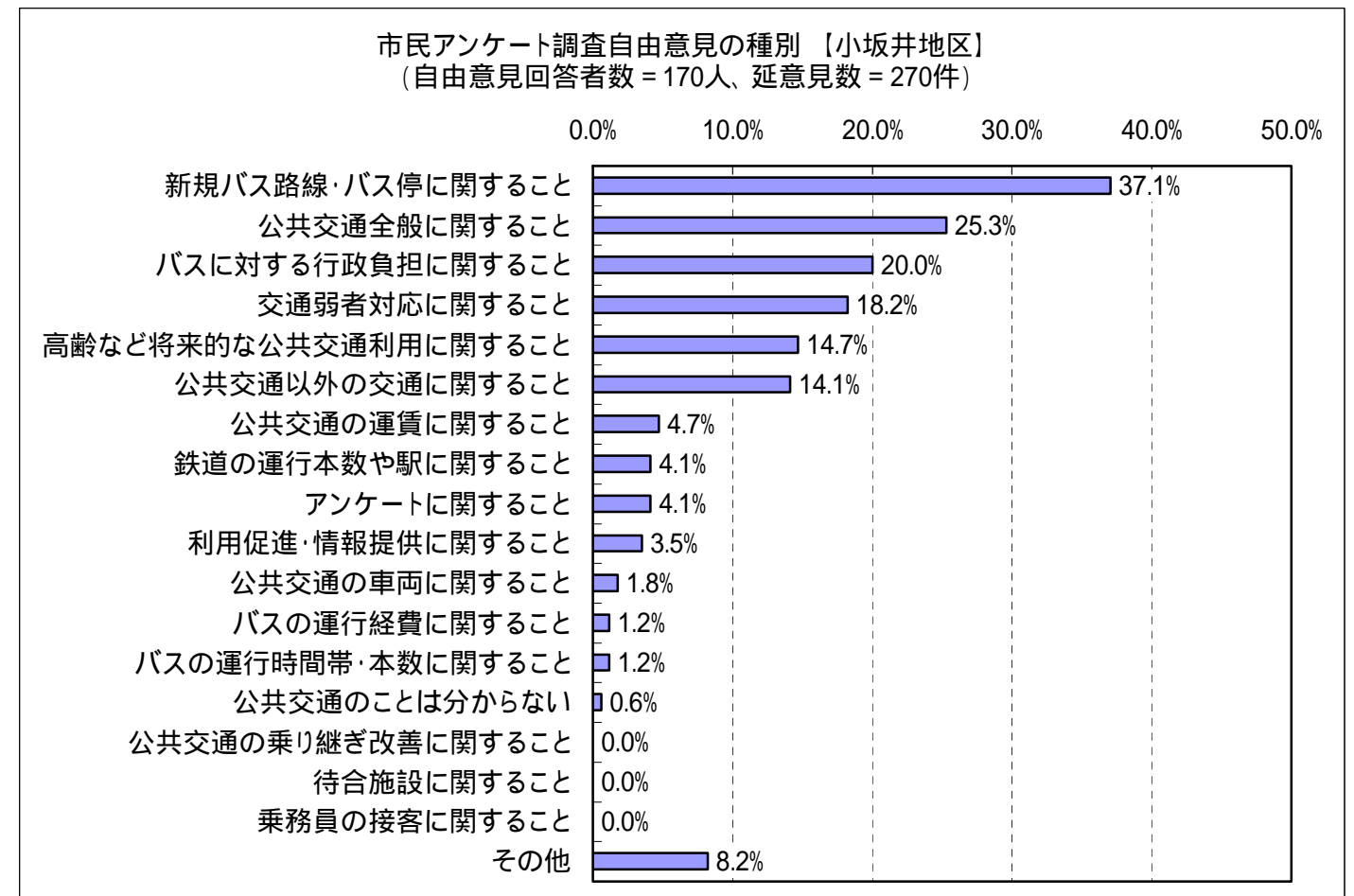
< 運転免許の有無 >



(11) 自由意見

アンケートの自由意見では、「新規バス路線・バス停に関する事」が最も多く、「公共交通全般に関する事」「バスに対する行政負担に関する事」「交通弱者対応に関する事」の意見が多くなっています。

主な意見を、次の頁に整理しました。



自由意見の種別で多いものの具体的な意見の抜粋

<新設バス路線・バス停に関すること>

- ・地域発展や今後の高齢化のため、駅や主要施設などの市内を巡回するバスは必要。
- ・小坂井地区に駅が3つあるので、駅を回るバスが欲しい。
- ・小坂井地区から市役所や市民病院などの市の中心部へ行けるバスが欲しい。
- ・新市民病院へのバスが欲しい。
- ・小坂井地区にもバスは必要。税金を払っているのに公平に利用できないのは不便。
- ・小坂井地区内だけでも巡回するバスを希望。
- ・商業店舗自身のマーケットエリアを巡回させるバスを企画して欲しい。店舗の費用負担で。

<公共交通全般に関すること>

- ・これから高齢者が増加するので、有効な整備を行って欲しい。
- ・市民全体の利便性を考えるなら、今回の調査は今後の高齢化社会には良い方向と思う。
- ・中心部や主要道路だけでなく、田舎にも目を向けて欲しい。
- ・小坂井地区は道路が狭いので、バスの運行で渋滞しないようにして欲しい。
- ・鉄道駅が3つあるので、バスは無くても問題ない。
- ・介護者や老人用のサービスを考えたタクシーの方が、個人的には利用しやすいと思う。
- ・タクシーの相乗りをしてはどうか。安く利用できるタクシーを考えてはどうか。
- ・合併したので、他の地区の人と同じような負担で行動できるようにして欲しい。
- ・車がないと生活できない。

<バスに対する行政負担に関すること>

- ・税金を上手に使って欲しい。無駄なく使ってもらえれば、それなりの負担もやむを得ない。
- ・多少の負担はあっても、公共交通は減らすべきではない。
- ・特定の人に税金を投入するのは不公平。バスが走っていないのに、負担はおかしい。
- ・行政負担を増やしてまで、公共交通を整備する必要はない。
- ・交通弱者の負担は負えるものがすべき。
- ・必要性は分かるが、生活に余裕がないので、税負担増を市民に求めないで欲しい。

<交通弱者対応に関すること>

- ・高齢者に優しい公共交通機関を考えて欲しい。高齢者で車を持っていない人は、大変だと思う。
- ・高齢化で日常の病院や買物通いが大変である。
- ・「買物難民」と言われる高齢者への手助けは必要。
- ・高齢者のために病院を回るバスを希望。
- ・車の無い高齢者や子供の利便を考えるべき。

<高齢など将来的な公共交通利用に関すること>

- ・健康なうちは必要性を感じないが、将来は必要と思う。
- ・今後のことを考えると、バスは必要である。
- ・車の運転ができなくなる時が来るので、今のままでは不安。
- ・車を利用できなくなったら、外出を控えると思う。
- ・高齢になり、自転車は雨の日は怖く、今後どうすればいいか不安。

自由意見の種別で多いものの具体的な意見の抜粋(続き)

<公共交通以外の交通に関すること>

- ・小坂井地区は道路が狭いので、公共交通の整備の前に道路を広げて欲しい。
- ・歩道のある道路を整備して欲しい。
- ・道路が狭く、バスが通れないのでは。
- ・駅の駐車料金を安くして欲しい。
- ・小坂井地区は踏切が多く渋滞が非常に起きているので、改善を望む。

<公共交通の運賃に関すること>

- ・高齢者は無料で利用できるようにして欲しい。
- ・タクシーの高齢者割引を希望。
- ・運賃は1回100円程度が妥当。
- ・運賃が安ければ、バスも利用したい。

<鉄道の運行本数や駅に関すること>

- ・JRの運行本数が少ない。
- ・JR西小坂井駅を新しくして。
- ・小坂井地区の駅に優等列車(名鉄なら特急、JRなら快速)を止めて欲しい。
- ・JR駅は反対側の入り口も作って欲しい。

<アンケートに関すること>

- ・合併してこのようなアンケートを行ってもらい、感謝したい。
- ・アンケートは無駄と思う。

<利用促進・情報提供に関すること>

- ・バス利用の経験がなく、利便性を知らない人が多いと思う。
- ・市内のどこを走っているか知らない。時刻表や路線図が欲しい。
- ・行政負担について知らなかった。きちんと情報公開して欲しい。

<公共交通の車両に関すること>

- ・大型バスでなく、小型のバスでいい。
- ・乗降が楽にできる車両を希望。

<バスの運行経費に関すること>

- ・小型のバンで費用を抑えるべき。
- ・採算面で問題は多いと思うが、バスは欲しい。

<バスの運行時間帯・本数に関すること>

- ・巡回バスは1日に3本くらい走ってくれれば便利になると思う。
- ・夕方6時くらいまでは運行して欲しい。

<公共交通のことは分からない>

- ・公共交通は、ほとんど利用しない。